

上宮寺通信

第二十八号

仏になる可能性(仏性)

緊急事態宣言下、オリンピックに続いて無観客で行われた東京パラリンピック。オリンピック同様日本選手のメダルラッシュとなりました。

普段、あまり目にするのではないパラリンピックの競技も、見てみるとおもしろいものです。特に車いすラグビーやバスケットは迫力もあり大いに楽しませてくれました。

そんなパラリンピックを見ると、本人の努力は相当なものがあると思うのですがハンデをもろともしない人間の可能性を大いに感じさせてくれます。

仏教では人間が仏(覚った者)

になる可能性のことを仏性といえます。

『涅槃経』では「一切衆生悉有仏性」と一切の生きとし生ける者は仏性を持っていてと教えられます。それが花開くか開かないかは本人の努力次第ということになるでしょう。だから一生懸命に修行すればいつかは仏に…、というのが一般的な考え方です。

しかし、浄土真宗の開祖・親鸞聖人は少し違った見方をしています。ご自身も含めて私たち人間は「煩惱具足の凡夫」であり、私自身がいくら煩惱の火を鎮めようとしても、ふとしたことでその火はますます燃え盛ってしまふ存在なのだといわれます。

そのような凡夫の身には仏性

があっても自分の力だけではとうてい花開くことなどあろうはずがない。それが親鸞聖人の人間観でした。

実際に人間で仏となられたのはお釈迦様以外にはおられません。

では、私たちに仏性は開かないのか？

親鸞聖人は、凡夫の身の私の口から「南無阿弥陀仏」と念仏が出る。阿弥陀仏を信ずる「信心」が起る。こんな不思議なことは阿弥陀仏のはたらきとしか言いようがない。この阿弥陀仏のはたらきこそが私の仏性が開く唯一の道であるといただかれ、「大信心は仏性なり 仏性すなわち如来なり」という和讃も詠まれています。そして、信心

を獲た人は如来とひとしいといわれるのです。

オリンピック・パラリンピックの選手たちは自らの可能性を信じて競技に取り組んできたと思います。しかし、同時にその可能性を信じた周りの人(環境)の手助けがありました。

阿弥陀仏と私の関係も同じ。自らの道を信じて歩むと同時に、その道を歩む私を信じてくれる阿弥陀仏がいるのです。私たち凡夫にとっては阿弥陀仏のはたらきなしには仏性は開かないのです。



◆行事案内

上宮寺の行事

報恩講

11月8日(月)午前10時

法要 引き続き 法話

法話 伊奈祐諦師

(西尾市安楽寺前住職)

※正午頃終了予定です。

※お齋(食事)、呈茶はございませんのでご了承ください。

本山報恩講団体参拝(日帰り)

11月24日(水)

東本願寺報恩講(連夜)参拝、

北野天満宮見学 他

参加費 一四、〇〇〇円

定員 45名(定員になり次第締切)

※これらの行事は今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更する場合があります。

◆話題あれこれ

○緊急事態宣言発出に伴い、9月8日の秋季彼岸会・永代経法要は内勤めにて行わせていただきました。

○11月8日の報恩講は午前中のみとなりますが、感染防止に努めて皆様と一緒に勤めたいと思います。ご参詣の折にはマスクの着用、手指の消毒にご協力いただきますようお願いいたします。

○ワクチン接種が進んでいるとはいえ、会食というまだまだ難しいと思います。報恩講ではお齋(食事)の代わりに、お持ち帰り用の軽食を用意させていただきます。

○11月16日(火)に東別院で住職が法話をさせていただきます。午前11時10分からと午後1時から二座で各30分となります。場所は本堂横の建物で「対面所」というところです。

○緊急事態宣言は解除されたものの、第六波がいずれやってくるのではないかと懸念されています。油断することなく感染防止対策をして過ごしましょう。また、季節の変わり目ですので体調にはくれぐれも気をつけてください。



【雑感】

9月15日に新型コロナワクチンの2回目の接種をしてきました。心配していた副反応ですが、やはり1回目よりも強く出たしまいました。次の日の昼頃から37度台の熱が出て倦怠感も。解熱剤を服用すると落ち着くのですが、3日目も微熱がありました。気分も悪く辛い思いをしたのですが、十月に入れば抗体ができるはず。少しは安心できるかなと思うのですが、8か月後には3回目の接種が必要との話も…。また副反応が起きるとなると、できれば打ちたくないですね。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547